

CIOメッセージ

CIO: Chief Information Officer

 リソナホールディングス
執行役兼グループCIO

片山 光輝



リソナグループは「リテールNo. 1」の実現に向け、プロセス再構築と一体となったシステム構造改革、ならびにコスト構造改革を推進しています。これにより、リテールビジネスに内在する高コスト構造を打破するとともに、生成AIなどの最新技術を活用したDXも推進し、お客さまへ付加価値の高いサービスをスピーディーにお届けする体制を整えています。

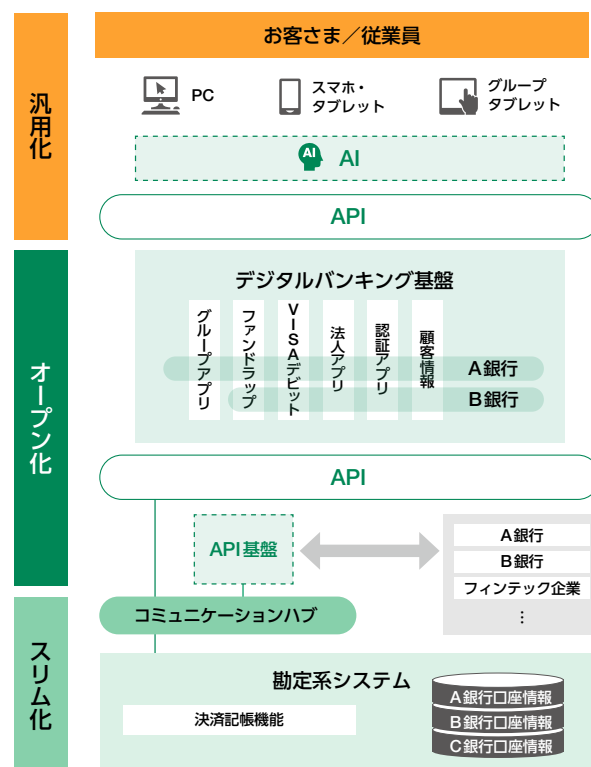
また、サイバーセキュリティ対策については、世界的な脅威の高度化に対応すべく、情報セキュリティ体制の強化を継続的に実施しています。お客さまおよび社員が安心・安全にサービスをご利用いただける環境の維持に努めていきます。

システム構造改革による次世代化の推進

システム構造改革「リソナNEXT」2nd Stageの最終年度を迎えるなか、「汎用化(金融専用端末からの脱却)」「オープンプラットフォーム化」「スリム化(システムの断捨離)」という3本柱の取り組みを着実に進めています。この改革は、単なるシステム更新にとどまらず、ビジネススピード・運用効率・データ活用力を抜本的に高める、事業構造の基盤を再構築する戦略的な取り組みです。

2024年度には、みなと銀行のシステムの統合を計画通り完了し、リソナグループ全体でのワンプラットフォーム化を実現しました。これにより、リアルとデジタルを融合したお客さま体験価値を提供し、全国の地域特性に即したマルチリージョナルなサービス提供を可能にしました。

こうした構造改革に加え、システム投資の8割をDX投資に充て、中長期的なサービス開発のスピード向上を支える戦略的なIT基盤に変革します。これらのIT基盤を活用し、お客さまの多様化・高度化する「こまりごと」や「社会課題」に対し、最適なソリューションを提供できる体制を整えています。特に、コンサルティング型営業の深化や、チャネル横断的なサービス提供体制の強化を通じて、付加価値の高いサービス展開を加速させています。



DXによる価値提供力の強化

社内業務の抜本的な効率化を目指し、全社員が利用する社内システムの刷新を進めています。データの利活用 of のさらなる推進とともにシステムと業務が一体となることで、業務全体の最適化を図っていきます。

加えて、システム開発の内製化やIT・DXスキルの底上げを進めるとともに、生成AIを全社員に標準装備し、業務の効率化にと

どまらず、新たなサービスの創造を目指します。

これらの取り組みによって個人の能力を飛躍的に高め、その成果の集積として組織能力を大幅に拡充します。柔軟かつスピーディーなサービス提供を行うことで、お客さまへの価値提供力を引き上げ、リソナグループの持続的な成長を実現します。